

# 令和6年台風第10号（8月25日～9月2日） における 防災・減災、国土強靱化対策 効果事例

1. 令和6年台風第10号(8月25日～9月2日)における大雨の状況
2. 氾濫危険水位（警戒レベル4）超過河川の状況
3. 整備効果事例



令和6年9月  
三重県 県土整備部

# 1. 令和6年台風第10号(8月25日～9月2日)における大雨の状況

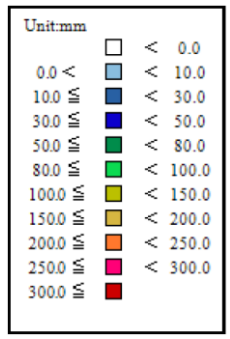
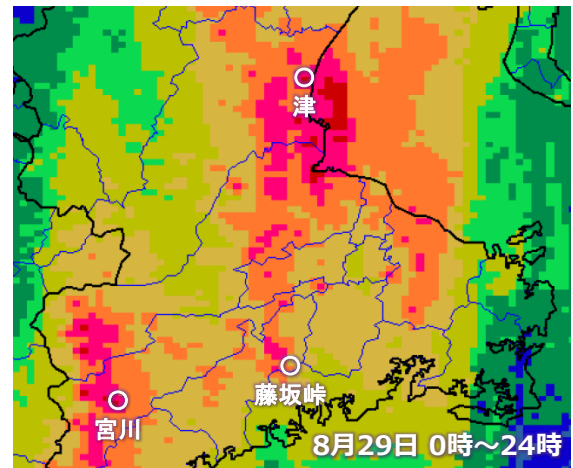
三重県では令和6年8月25日～9月2日の長い期間にわたって大雨となり、総雨量が平年の8月の月降水量を大幅に超える記録的な大雨となった。  
8月31日には、三重県北中部に線状降水帯が発生し、局地的に降水量が急激に増加した。

## ○県内雨量状況

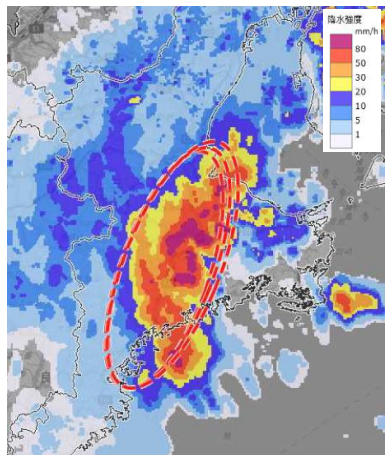
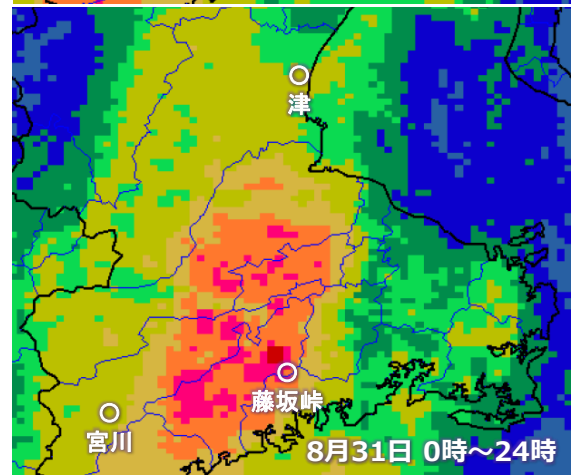
※8月25日18時～9月2日04時の合計値

観測所	時間最大(mm)	降水量※(mm)	備考
津(津市)	73.5	618.0	津観測所で 72時間降水量が 観測史上1位を 更新
宮川(大台町)	45.0	745.0	
藤坂峠(大紀町)	74.5	691.0	

## ○解析雨量※積算分布図(24時間積算)



三重県北中部で線状降水帯発生  
(8月31日13時50分)



## ○道路の状況(県管理道路)

60区間で通行止めを実施  
(災害8区間、冠水6区間、雨量規制46区間)



津市街地の冠水の状況



津市内の冠水状況

## ○施設の被災状況

県市町合計で103件の災害復旧事業を報告(9月11日時点)

	河川	砂防設備	道路	橋梁	合計
県	45	2	12	1	60
市町	21	0	21	1	43
合計	66	2	33	2	103

出典：津地方気象台

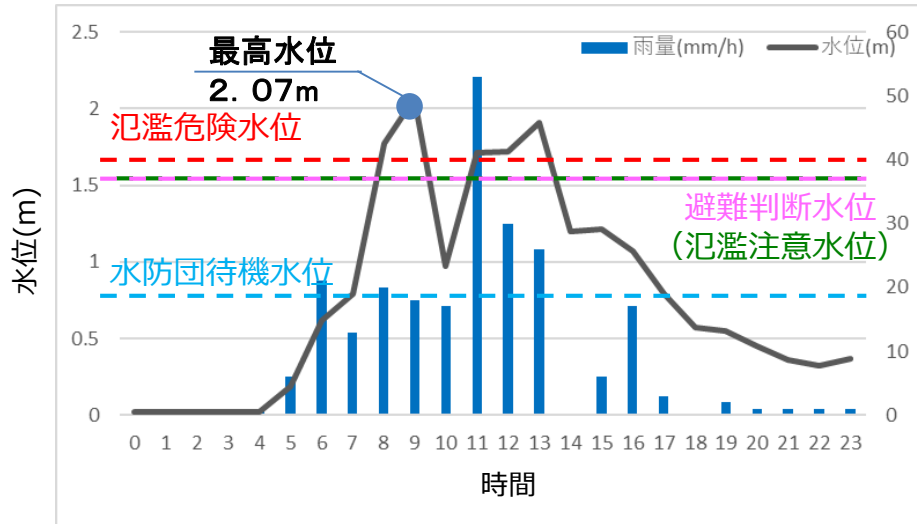


## 2. 氾濫危険水位（警戒レベル4）超過河川の状況

### 県が管理する11河川で氾濫危険水位（警戒レベル4）を超過

【二級河川 名古屋須川（松阪市 大津名古屋須橋観測所）】

時間雨量53mm、24時間雨量236mm

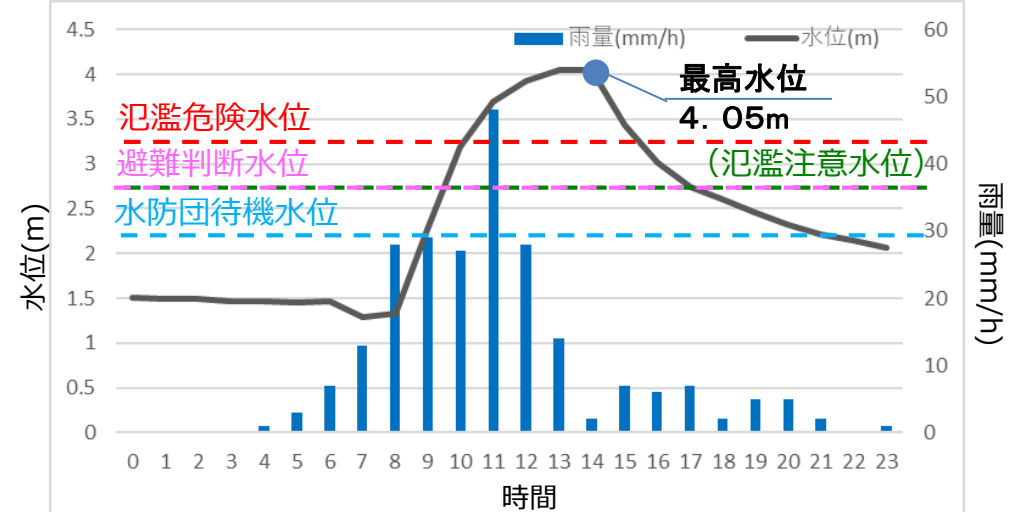


名古屋須川（迎出橋上流側）8月29日9時20分



【二級河川 安濃川（津市 一色観測所）】

時間雨量48mm、24時間雨量235mm

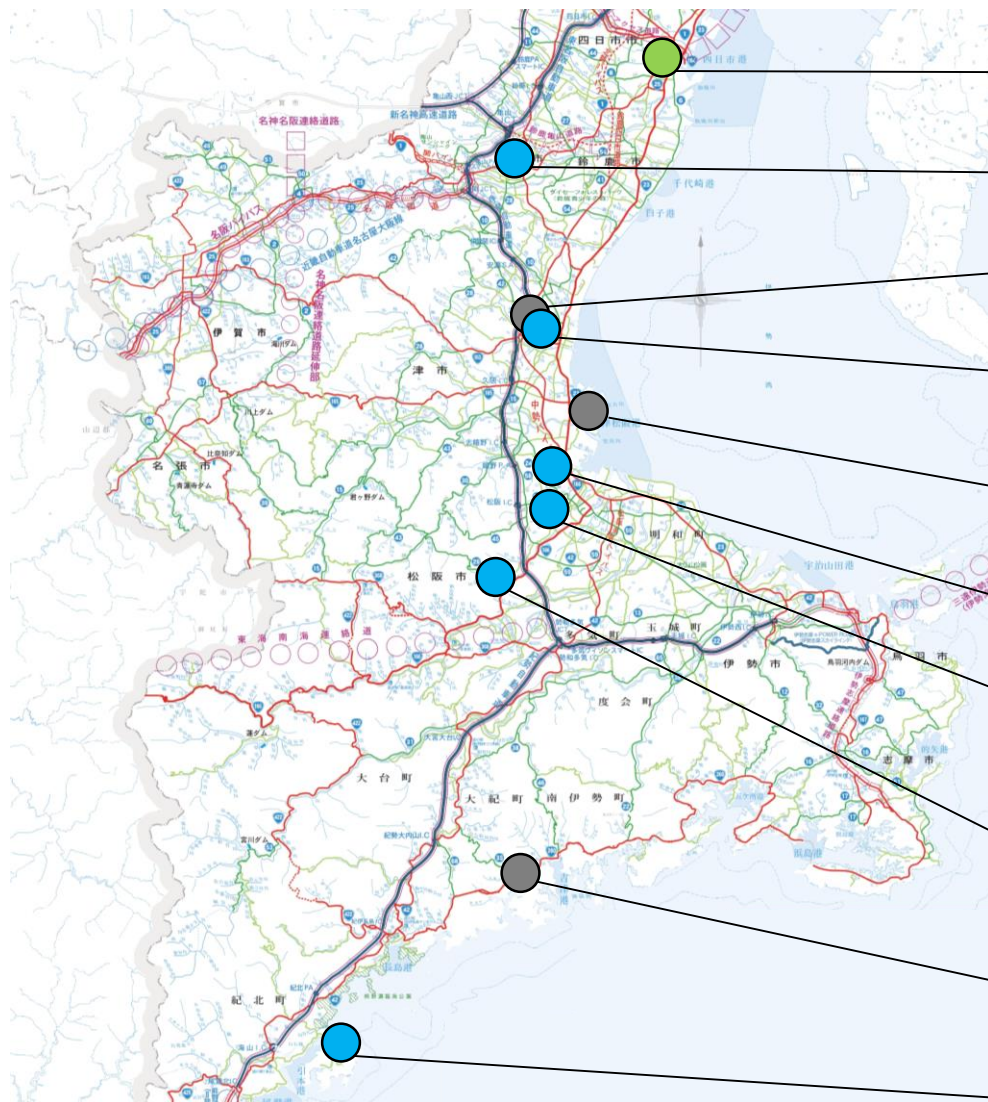


安濃川（一色橋）8月29日14時10分



### 3. 整備効果事例 位置図

令和6年台風第10号により記録的な大雨を受けたが、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等で整備し、整備効果を発揮したインフラ施設について、代表的な事例を紹介。



- 9. 浜田通り  
貯留管築造事業（四日市市）
- 5. 一級河川棕川  
河川改修事業(堤防強化)（亀山市）
- 3. 主要地方道津芸濃大山田線  
道路排水設備(機械設備)改修事業（津市）
- 6. 二級河川安濃川  
河川堆積土砂撤去事業（津市）
- 2. 一般県道香良洲公園島貫線(香良洲橋)  
橋梁架替事業（津市）
- 4. 二級河川三渡川  
河川改修事業（松阪市）
- (参考)二級河川堀坂川（松阪市）
- 8. 辻原5地区  
急傾斜地崩壊対策事業（松阪市）
- 1. 一般国道260号  
災害防除事業（南伊勢町）
- 7. その他水系谷地東谷  
砂防事業（紀北町）



◇一般国道260号災害防除事業（南伊勢町）

5か年加速化対策

対策前



Before:

○第3次緊急輸送道路に指定されているが既存のコンクリート吹付は劣化が進みひび割れ等の変状が確認され、豪雨時に崩壊し、道路の通行が困難になるリスクがあった

対策後



After:

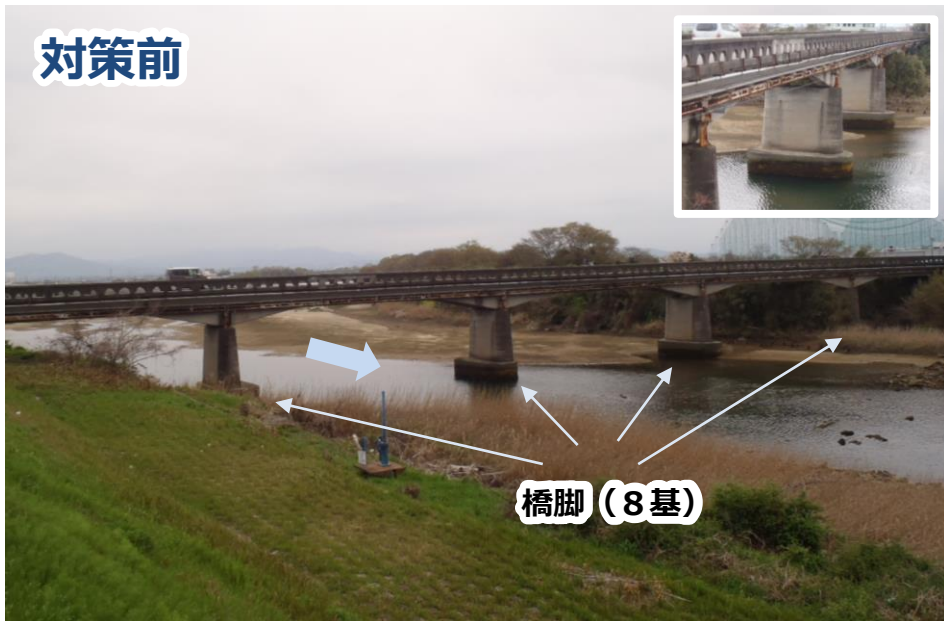
○コンクリート吹付の対策を実施することで、豪雨による法面の崩壊を防止し、通行止めリスクが低減された

**今回、時間雨量60mm、累計590mmの降雨があったが、法面崩壊による通行止めは発生しなかった**

◇一般県道香良洲公園島貫線 香良洲橋 橋梁架替事業（津市）

5か年加速化対策

対策前



橋脚（8基）

**Before:**

○第2次緊急輸送道路に指定されているが、複数の橋脚が河川の流れを阻害し豪雨時に橋梁が流失するなど、通行止めとなるリスクがあった

対策後



橋脚（2基）

**After:**

○河川の流れを阻害する橋脚が少ない橋梁形式に架け替えることで、豪雨時の橋梁の流失を防止し、通行止めリスクが低減された

**今回、時間雨量73.5mm、累計618mmの降雨があったが、橋梁に変状はなく、流水への障害も発生しなかった**



# 道路 3. 道路冠水対策により幹線道路の通行止めリスクを解消

◇主要地方道津芸濃大山田線 道路排水設備(機械設備)改修事業 (津市)



## Before:

○令和2年9月台風第10号による40mm/hの降雨で冠水が発生し、3時間以上通行止めが発生

〔対策前の10年間で4回冠水が発生〕

## 対策後



## After:

○排水ポンプを改修することにより、吐水量が160%向上したことで大雨時の通行止めリスクを軽減した

**今回、時間雨量50mm/hの豪雨でも冠水は最小限(30分)**



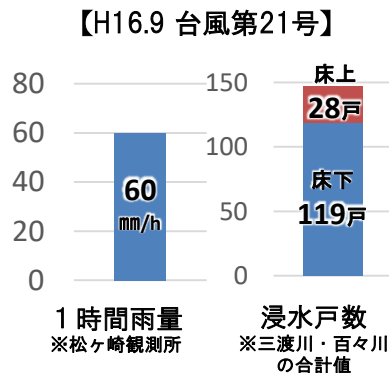
◇二級河川三渡川 河川改修事業（松阪市） ※事業推進中

3か年緊急対策



**Before:**

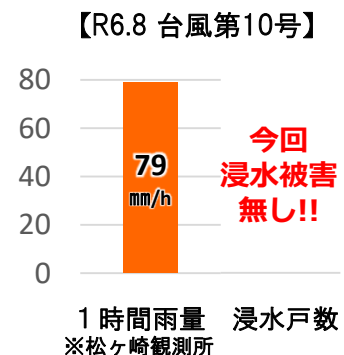
○平成16年9月台風第21号の豪雨による出水により、三渡川・百々川あわせて床下119戸、床上28戸の家屋浸水被害が発生



**After:**

○河川改修等で川幅を拡げたことにより、水位低下が図られ浸水被害発生リスクが軽減された

**今回、H16出水を超える1時間雨量を記録したが、流域内の家屋等の浸水被害発生を防いだ**





◇一級河川椋川 河川改修事業(堤防強化) (亀山市)

5か年加速化対策

**Before:**

○想定を超える大雨により、河川の水が堤防を越えると、堤防の裏側等が削られて堤防が決壊するリスクがあった

**After:**

○堤防をコンクリートで覆うことにより、越水しても壊れにくい「粘り強い堤防」に強化された  
**今回、近傍の水位観測所において氾濫危険水位(警戒レベル4)を超過したが、被害が発生しなかった**



◇二級河川安濃川 河川堆積土砂撤去事業 (津市)

対策前

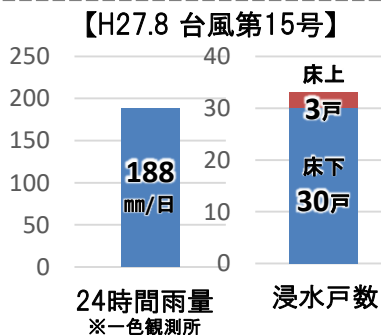


対策後



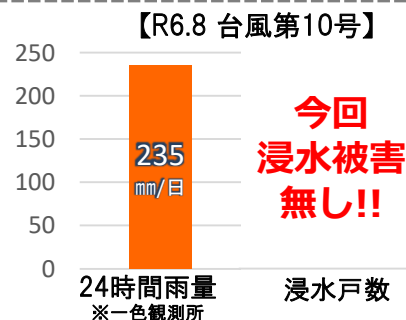
Before:

○平成27年8月台風第15号の豪雨による出水により床下30戸、床上3戸の家屋浸水被害が発生



After:

○堆積土砂を撤去したことにより、河川の水がスムーズに流れ洪水発生リスクが軽減された



今回、浸水被害が発生した平成27年8月台風15号以上の雨が降ったが、氾濫は発生しなかった



◇その他水系谷地東谷 砂防事業（紀北町）

5か年加速化対策

**Before:**

○豪雨時に土石流が発生した場合、下流の人家58戸、避難所2箇所、診療所等が被災するリスクがあった

**After:**

○砂防堰堤を整備することにより、土石流が発生した場合、岩や流木などを含む約1.4千 $m^3$ の土砂を貯めることが可能となり、土砂災害が発生するリスクが低減された

**今回、時間雨量65mm、累積雨量201mmの降雨があったが、土砂災害による被害は発生しなかった**



# 流域 8. 擁壁により人家や避難所等を保全

◇辻原5地区 急傾斜地崩壊対策事業（松阪市）

5か年加速化対策



## Before:

○豪雨時にがけ崩れが発生し、がけ下の人家8戸、県道が被災するリスクがあった



## After:

○擁壁を整備することにより、がけ崩れから人家8戸、県道を保全した

今回、時間雨量67mm累積雨量278mmの降雨があったが、土砂災害による被害は発生しなかった



3か年緊急対策

5か年加速化対策

◇浜田通り貯留管築造事業(四日市市) ※四日市市事業

貯留管工事の状況



令和4年6月～供用開始

降雨後の状況



貯留管位置

○四日市市阿瀬知排水区では、近年の浸水被害から整備水準を時間75.1mm降雨に引き上げ、浜田通りの地下に**貯留管を整備**

■当排水区の浸水被害

- ・過去10年間に100戸以上
- (内訳)延べ床上浸水戸数：31戸
- 延べ床下浸水戸数：79戸

■事業概要

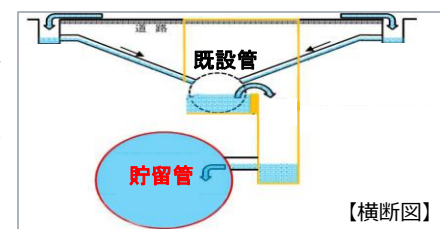
- ・排水区面積：182.1ha (貯留管整備効果対象面積：約70ha)
- ・貯留量：約1.5万m<sup>3</sup>
- ・直径：4.4m
- ・延長：1.1km

○台風第10号で貯留管が満水になるまで貯留効果を発揮し、**浸水リスクを回避**

■貯留管の仕組み

大雨時に既設の下水道管が溢れる前に雨水を一時的に取り込み、道路等の浸水被害を軽減させる施設

イメージ図

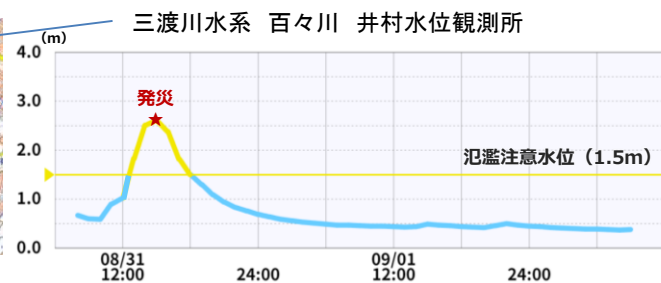




◇二級河川堀坂川（松阪市）

発災日時	8月31日15:00
被災概要	二級河川堀坂川（松阪市田牧町）堤防欠損（L=30m）
対応状況	8月31日20:20 応急対応着手（川裏側の土嚢設置）
	9月1日13:00 大型土のう、袋詰め玉石（材料は中部地方整備局より支援）設置開始
	→ 9月2日18:00 応急対応完了

伊勢寺雨量観測所で  
時間雨量53mm、日雨量184mmを観測



**早期の応急対応が完了**  
**今後は災害査定（11月第4週）を行い、早期の復旧を目指す**